

カラーコンパウンド

プラスチック樹脂に染顔料及び添加剤等を練り込み粒状にしたものをカラーコンパウンドといいます。当社は最適な生産・試験設備と、高い生産技術力(着色、調色技術/混練加工技術)・品質管理体制のもとで、お客様からのご要望に添った製品加工を行う営業サービスを提供しています。

ポリオレフィン系、ポリスチレン系、アクリル系、ポリエステル系、ポリカーボネート系、エラストマー等のカラー着色コンパウンドを提供しています。

機能性コンパウンド

プラスチック樹脂に各種無機・有機フィラー、新素材等を添加して機能性を付与し、粒状にしたものを機能性コンパウンドといいます。当社はこのコンパウンド加工技術を確立しており、更に新たな素材、機能の応用についてもご要望に対応しています。

また、アロイ化、反応系のコンパウンドにつきましてもご相談に応じています。

カラーコンパウンド・機能性コンパウンドの品名表示例

品名表示：樹脂名略号の後に -T を付けています。

PP-T、PE-T、PS-T、AB-T、AS-T、MA-T、PK-T (PC)、
PL-T (POM)、PT-T (PET)、PB-T (PBT)、PA-T、HS-T (PPS) 等です。

用途

家庭用品、自動車関連製品、家電製品、OA機器製品、建築資材、農業資材等

カラーコンパウンド



カラーコンパウンド



当社プラスチックカラーガイドより

機能性コンパウンド



無機フィラー添加コンパウンド



CF 添加コンパウンド



GF 添加コンパウンド

お問い合わせ先/

合樹・着材第一事業部
〈e-mail〉 resin1@daicolor.co.jp

東日本支社
西日本支社
中部支社

TEL:03(3662)7188
TEL:06(6455)9023
TEL:052(834)6811

FAX:03(3808)0689
FAX:06(6455)9527
FAX:052(834)5709

顔料

カラーベース

プラスチック材料

プラスチック用着色剤

プラスチック用機能剤

繊維・紙用着色剤

印刷インキ

ウレタン樹脂

接着剤

塗料・コート材

キトサン

色彩管理技術

19 表面着色型カラードペレット ダイペレコート [DAIPELLECOAT]

顔料

ガラス繊維強化エンブラ着色用に開発されたペレット樹脂表面着色方法による製品で、着色工程でのガラス繊維破損がなく、機械物性の低下を抑えることができます。
また、独自の水性表面処理技術により加熱熔融状態で着色剤を練り込む工程が省略されているため、処理エネルギー量が少ない設計となっています。

カラー
ベース

用途

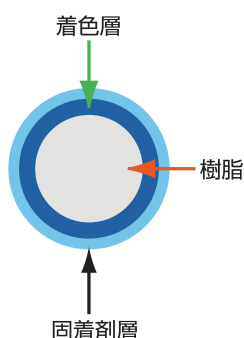
ガラス繊維強化エンブラの着色

・ガラス繊維入りコンパウンドの組成例は、合成樹脂としてPBT、POM、PPS、LGPなどのエンブラ全般に対応できます。
ガラス繊維 10～50%のコンパウンドに適用できます。

プラス
チック
材料

プラス
チック
用
着色剤

着色層・固着剤層の模式図



プラス
チック
用
機能剤

繊維・
紙用
着色剤

印刷
インキ

特徴

1. 着色工程や表面硬度の高い着色剤によるガラス繊維の破損が最小限で、機械物性の低下が抑えられています。
2. 着色層が独自の水性表面処理技術により固着され、省エネルギー化が図られています。
3. 着色剤の樹脂表面への固着性にすぐれており、ハンドリング時の剥落、作業場汚染が軽減されます。
4. 着色剤が表面に均一に固着されており、色むら等の着色不具合がありません。
5. 10%以上のガラス繊維強化樹脂の着色に対応できます。
6. 耐熱性にすぐれた融点の高い固着剤を使用していますので、成形前乾燥時の変色やブロッキングの心配がありません。
7. 仕込みから固着工程・製品まで連続生産方式をとっているため異物混入リスクと材料ロスが少ないことから小ロットの着色に好適です。

製品見本



ウレ
タン
樹脂

接着剤

塗料・
コート
材

キト
サン

色彩
管理
技術

お問い合わせ先／

合樹・着材第一事業部
〈e-mail〉 resin1@daicolor.co.jp

東日本支社
西日本支社
中部支社

TEL:03(3662)7188
TEL:06(6455)9023
TEL:052(834)6811

FAX:03(3808)0689
FAX:06(6455)9527
FAX:052(834)5709

独自のコンパウンド加工技術による、プロピレン系樹脂をベースとした低結晶性のポリオレフィン樹脂です。ペリコンCAPを用いた多層フィルムは、透明性と柔軟性にすぐれるとともに、軟質PVCと同様な特性を示すことから、建材、鋼板化粧、包装、ストレッチラップなどの用途に広く使用されています。

用途例

(1) 表面保護用フィルム

絞り加工性が良好で、また、フィルムの配向が小さいため剥離時にフィルムが裂けにくい特徴があります。

構成
PP
ペリコンCAP
PP

(2) ストレッチ・ラップフィルム

耐熱性ととともに、透明性、柔軟性および指押し回復性にすぐれ、ヒートシール後の仕上がりが、外観がきれいです。

構成
EVA
ペリコンCAP
EVA

(3) 繊維製品包装用フィルム

ビニロン代替として、温度や湿度の影響を受けにくく、柔軟性、透明性および光沢にすぐれます。

構成
PP
ペリコンCAP
PP

特徴

【ペリコンCAPの特徴】

1. 比重が0.9以下と小さく、軽量化できます。
2. 柔軟性と耐熱性を兼ね備えています。
3. 耐衝撃性にすぐれています。
4. 焼却やリサイクルが容易です。

【ペリコンCAPフィルムの特徴】

1. 柔軟性、耐熱性ととともに透明性にもすぐれています。
2. 耐衝撃性、耐引き裂き性にすぐれています。
3. 汎用のポリオレフィンフィルムと同様な条件で、インフレおよびT-ダイでの押出成形が可能ですが、単体では表面粘着性があるため、共押出の中間層としての使用をお勧めします。



ペリコンCAPの基本特性

項目	試験法	単位	ペリコンCAP330	ペリコンCAP350
MFR (230℃)	JIS K 7210	g/10min.	3.0	11.7
比重	JIS K 7112	—	0.89	0.88
引張降伏点強度	JIS K 7161	MPa	14.1	9.3
引張破断点伸び		%	> 200	> 200
曲げ弾性率	JIS K 7171	MPa	355	165
曲げ強度		MPa	13.7	7.3
アイゾット衝撃強度 (ノッチ付き)	23℃	JIS K 7110	NB	NB
	-10℃		67	144
表面硬度	JIS K 7202-2	ショアD	52	41
荷重たわみ温度 (0.46MPa)	JIS K 7191	℃	54	46

ペリコンCAPフィルムの特性

フィルム構成 (構成: ランダムPP/ペリコンCAP350/ランダムPP、フィルム厚さ: 50 μ)

項目	試験法	単位	構成比: 1 / 2 / 1		構成比: 1 / 3 / 1	
			MD	TD	MD	TD
ヘイズ	JIS K 7105	%	1.2		1.1	
引張弾性率	JIS K 7161	MPa	260	260	200	220
引張破断点強度		MPa	48	44	48	37
引張破断点伸び		%	> 800	> 800	> 800	> 800
引裂強度	JIS K 7128-2	N	90	160	100	190